

## 令和7年度 福井県立道守高等学校 学校関係者評価書（通信制）

### （問）

- ・学校評価諸成果と課題が適切かどうか
- ・成果と課題を踏まえた改善点・向上策が適切かどうか
- ・その他

### ○学校関係者

- ・鈴木宏治（道守高校・教育振興会会長）
- ・平山吉男（道守高校・同窓会会長）
- ・服部悟（道守高校・福信会会長）
- ・柳生英俊（道守高校・育友会会長）

### ○教育課程・学習支援

- ・通信教育で最も重要な自学自習を十分に理解し勉学に励んでいる生徒が多く安心した。
- ・「学習の手引き」やGoogle Classroomが整備されている点を評価したい。
- ・レポートの添削指導やスクーリング時の声かけは、生徒の「自己有用感」を育む温かい学習支援の継続を期待。
- ・ICTの活用が「具体的な取組」の1項目のみ。今後ICTは不可欠なので、教育上の重大な課題として実践してほしい。

### ○生徒支援

- ・学校生活を安心して送っているとの回答、また社会の一員としてマナーやルールを守っている生徒が多く安心した。
- ・この先も学校行事やLH等に積極的に参加してほしい。
- ・社会の一員としての規範意識とともに考えていく対人援助的な指導姿勢が、生徒の安心感に繋がっていると感じる。

### ○進路支援

- ・進路について迷っている生徒が40人ほどいる。保護者の相談にもものってほしい。
- ・生徒の「自己決定」を尊重し、面談等を通して生徒の要望に応じたキャリアカウンセリングを行っている姿勢に感謝する。「サボステ」や専門学院（来年度）など、学校外の多様な機関と連携し、卒業後も社会の中で孤立させないシームレスな支援体制が構築されている点を評価する。

### ○生徒理解

- ・不登校の生徒の保護者は悩んでいるのではないかと。「保護者のつどい」を今後も続けてほしい。
- ・全ての教職員が教育相談研修会等を通して生徒理解を深め、専門職と連携している点は心強い。生徒の抱える困難や感情に寄り添い、チーム学校として多角的に生徒を理解しようとする福祉的なアプローチが機能していると感じる。

### ○健康安全

- ・薬物乱用や喫煙の害について生徒がよく理解をしていて安心した。健康診断については、事情（生徒の特性）により受診できない生徒が一定数いるのではないかと。
- ・相談室等への高い信頼がアンケート結果に表れている。家庭と連携しながら、清掃活動など生徒が自らの心身を大切にできるような啓発活動の継続を願う。
- ・家庭での掃除・整理整頓に関する間は、学校評価としては適切ではない。

### ○生涯学習

- ・NHK「放送大学」を意欲のある生徒に勧めてはどうか。
- ・「通信道守」などの広報活動を通して、家庭に対しても適切な情報提供がなされていることに感謝する。今後も読書や多様なメディアを通して、生徒が自ら学ぶ楽しさを見いだせるような情報発信を期待する。

### ○その他

- ・指導が難しい生徒を預かっている先生方は大変だと思う。そのような中でアンケートの数値が年々良くなっていくのをうれしく思う。
- ・通信制課程が、多様な学びを保障する場として、生徒一人一人のウェルビーイングの向上に大きく寄与していることに感謝する。生徒をありのままに受け入れ、関係機関と連携しながら自立へと伴走する視点が、組織的に実践していることを確認できた。今後も、温かい学校が継続していくことを望む。
- ・在籍はしているものの、受講登録できていない生徒に対して、学ぶ意欲があるか調査できているか。評価シートに回答できているか。
- ・アンケートの回答例に「その他」を設定してはどうか。

### ○今後の対応

- ・肯定的な意見をいただいた項目については、継続的に取り組む
- ・学校内の活動についてのみ、学校評価のアンケートの項目をたてる
- ・学校評価アンケートの回答には、「その他」の意見も収集できるようなものにする
- ・新規の取組についても、積極的に取り入れていく